

第11回研究会を11月30日(土)に湯梨浜町で行ないました。

今回はかたの養母千代子の生家である湯梨浜の堀の菩提寺 龍徳寺を会場に、初めて墓地を見て、その後室内で研究会をもちました。



右手の山の中腹に堀家の墓地がある

元の方でなければわからないことを聞く。「明治二年二月十五日伯州松崎自分手政治を廃せらる」と和田信美家譜にもあり、その後郡政所が置かれた。堀の家は九代深見が江戸の終わりから明治二年まで勤め、十代於菟勝がその跡を継いでいると家譜に残っている。では松崎の留守居役であった堀深見一家はどこに移ったのか。

関心の深い人々が参加され、自分の祖母がこんなことを言っていたなど、まだ身近に感じる話を聞くことができた。明治初年の小

鹿谷の鉄砲佐吉郎屋敷は地図ではここだった、と言える人もいた。中興寺の地図に松崎の飛び地があり、飛び地は和田家の管理であった。等々地

墓地は七代までは明確だが、八代が不明確であり、更に九代と十代の墓がないのである。「五〇年位前までは縁者が掃除にきていた」と山本住職は言われた。

八丁縄手を隔てた松崎の地に一時住んだのか？それからどこかに出たのではないのか？

明治十年の西南戦争で堀正が出征中の時に母千代子とかたが松崎(松原か)に住んでいた可能性が強くなってきた。西南戦争前後の堀正の動きは正の手記原本写を資料配布したので、それを読み解くことをお勧めした。また昭和37年3月、かたの分骨を持って、長男の道夫が松崎の西向寺に来た時に話しをしたり、立ち会った人もおられて、45年前のことをお聞きできた。



研究会の様子

12月18日(水)「鳥取県を舞台に！歴史大河ドラマを推進する会」のメンバーでNHK鳥取を訪問しました。

初年度の「

澤田節蔵・廉

三・美喜」と

「碧川かたの

生涯」、昨年

度の「豪円」

に次いで今年

度は「中井太

一郎」が「鳥

取県を舞台に・・・」の候補に選考され、その実現に向けて活動しており、揃ってNHK

鳥取の熊笹御堂明子局長くまのみどうを訪問しました。

「碧川かた・・・」としては3回目のNHK

訪問ですが、県の東部・中部。西部で研究会をしていて、少しずつでも広がりが出ていることを報告しました。

熊笹御堂局長は「皆様の活躍を期待している。今日のことは上に報告しておく」と応対してくださいました。



訪問メンバーと熊笹御堂局長
左から3人目

(四井幸子)

人も深澤義彦市長を鳥取市役所新庁舎に訪ね、碧川かたをドラマ化にしたいので、協力しましょうと要望した。

鳥取市の「碧川かた顕彰会」の、尾崎・佐々木・角秋・日出嶋・四井も同席し、会の活動を紹介しました。

赤とんぼの母 西向寺に眠る

「碧川かた研究会」というのが中興寺の龍徳寺であるから出てくれといわれ、この秋、龍徳寺に出かけました。

私の祖母は小鹿谷藤井省三氏宅から長家おきに嫁にきたもので、藤井省三氏の祖母は姉にあたる。省三氏宅分家の故藤井数雄(昭和三年生れ)さんとは従弟になり、元分家の藤井にへい仁平氏の夫人きそさんが、かたの乳母だったことを聞いたことがある。いつか日本海新聞に「かたさんを預かって乳を飲ませたことがある(数雄氏の伝え聞き)」と石井良二さんが書いていたが、私は「かたさんを連れてきて乳を与えた」と聞いたのだが。

私は四四歳まで中学校の教員をしていた。



龍徳寺室内で長兼巳氏

私が三六歳の時、昭和37年3月下旬だったか、かたの長男

の道夫さんが西向寺の和田邦之助の墓に分骨しに来られた時に立ち会った。

藤井数雄さんから案内を受けて、午前中だけ出かけた。道夫さんと何か話しをしたことは覚えていいる。住職と他にも三人くらいおられたと思う。大きい墓の骨壺を取り出して、その中に分骨を入れた。もう一人別の人が形見の品か何かを入れたのを見ました。

道夫さんはその日の夜行「出雲」で帰られました。東京で仕事があるということでした。角秋勝治さんが本に書いておられるとおりです。湯梨浜町中興寺 長兼巳おきかねみ

「鐘は既に鳴れり下」734ページ角秋勝治

道夫は、「かた」の分骨を持って、四十九日の法要が終わった3月下旬、東京を発ち、出雲で鳥取に向かい鳥取で和田家菩提寺の真教寺に参拝し「かた」の生まれたお堀端武家屋敷付近や城跡を廻り、米子の碧川家の跡を訪ね、大山寺を訪ねている。最後に松崎まで引き返し、西向寺に立ち寄り、和田家累代の墓に「母さんやつと帰った。故郷の皆に会えたね」と言って、分骨を納めた。道夫は、庫裏で昼食をしながら住職や村の古老と歓談した。和田家・堀家と松崎を結ぶ来歴で話が弾んだ。「かた」は先祖の墓はむろん、因幡二十士のお布施も欠かさなかったという。道夫は早春の東郷湖畔を歩きながら、母が幼少の時歩いた道や、乳母の家はどこだろうと思いを馳せながら松崎駅に出た。東京オリンピックの打

ち合わせがあり、その日の晩の出雲で帰京した。

(角秋さんは道夫さんから聞いたということでした。)

時代運動 令和創造

今年度も予定どおりの活動と、できる限りの活動をして、碧川かたのことを深め、広めました。これを糧として次年度も朝ドラの主人公の実現めざして頑張ろう!

関連イベント紹介

〔次回研究会のお知らせ〕

★4月に米子での研究会をします。

〔日時〕 4月23日(木)

午後1時〜天神町あたりウォーキング

2時〜3時半研究会

〔場所〕 米子市立図書館2階3・4研修室

〔テーマ〕 織田正三氏と碧川家の付き合い

―申し込みは不要―

※ ウォーキングに参加の方は1時まで

※ 図書館玄関に集合。

※ ウォーキングしない方は2時まで

右研修室においてください。

※ 資料代100円

☆5月12日(火)は、かた研究会特別顧問の内田克彦氏がたつどの市で講演をします。

いい季節ですので、一緒にでかけませんか?

参加される方は事務局までお知らせください。